



勉強する子ども　きたえる子ども　やさしい子ども

かわひがし

都城市立川東小学校 学校だより



令和7年度 第4号

令和7年6月30日

文責 校長

川東小 6月の様子

本校の木 やまもも



5月29日・30日、6年生が修学旅行で鹿児島に行きました。知覧特攻平和会館や平川動物園など、学びが多く、充実した学習となりました。



6月10日(火)、予定より1日遅れ、プールの授業が始まりました。雷や酷暑のため、なかなか思うように実施できませんが、子どもたちは気持ちよさそうです。



6月19日(木)、今年度採用された先生の研究授業が行われました。先生として2ヶ月。慣れないところもあるでしょうが、毎日一生懸命頑張っています！

ALTの先生の授業の様子です。日本のことなどが大好きだそうです。子どもたちも楽しそうに学習に取り組んでいます。

校長のつぶやき「私の両親」

今回は、私の両親の話をしたいと思います。父はどちらかというと物静かな人、母は社交的な人でした。私の両親は今も健在で時々会いに行くと、いい歳の私を心配してくれます。私は恥ずかしいので、「はいはい。分かりました。」とぶっきらぼうに言うのですが、今でも、両親には頭が上がりません。

私が中学生の時、ちょっとしたことで母とケンカになりました。中学生の生意気盛り、母の話も適当に聞いていました。「話、聞いているの？」。母がそう言って詰め寄ってきたので、私は「うるさい！」と言って、母の腕を払いました。私はその瞬間、やりすぎたことに気づいたのですが、その後も素直になれずにいました。すると、それまで黙っていた父が、いきなり私の目の前に立ち、「お母さんに何という態度だ！悪いのはお前だろうが！」と一喝しました。普段はもの静かな父なので、とても怖かったと同時に「よかったです」とも思いました。父が止めてくれなければ、ずっと素直になれなかつたからです。

私が今でも両親に頭が上がらないのは、自分のことを理解し応援し続けてくれただけでなく、「おかしいものはおかしい。」「ダメなものはダメ。」と本気で叱ってくれたからだと思います。大人の社会では、自分の思い通りにならないこともあります。むしろ、そっちの方が多いかかもしれません。だからこそ大人になった今、つくづく思うのですが、私は両親が本気で叱ってくれたことに心から感謝しています。

保護者の皆様にとって、今は子育て真っ只中。お子様との日々の生活で、思い通りいかないこともたくさんあると思います。しかし、私が長年、教育に携わる中で

「親の本気の一言には、（教師も）かなわないな」と思う場面を何度も見てきました。虐待や体罰はいけませんが、親が自分のことを思って言つてくれていると思えば、子どもたちはいずれ、その意味を理解し、感謝する時が必ず来ると思います。学校はそのお手伝いができると思っていきます。子育ての悩みは尽きませんね。でも、子供達がより良い方向に向かえるよう、ともに頑張っていきましょう。

7月の主な行事

2日 (水)	学校保健委員会	18日 (金)	地域貢献活動 (6年) ・プール納会
8日 (火)	クレヨン号来校	22日 (火)	終業の日
10日 (木)	スクールカウンセラー来校	23日 (水) ~	夏休み



←川東小ホームページ
学校の様子を随時更新しています。
ぜひご覧ください。



←学校通信の感想フォーム
返信をいただき、ありがとうございます。
よろしければ、7月18日までに入力
してください。学校への要望等は返信で
きませんのでお控えください。